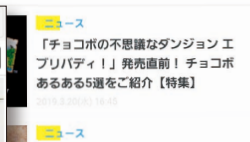
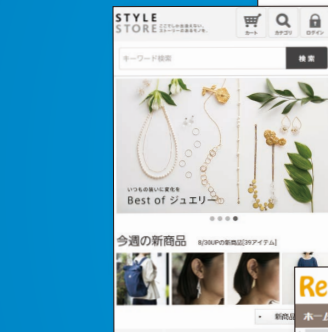




We are the User
Experience Company.

第20期



株主通信「イードプレス」

iid
Press

2019年6月期
(2018.7.1~2018.12.31)

上半期報告書



株主の皆さまへ

TOP MESSAGE

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

上半期はコンテンツマーケティングプラットフォーム事業（CMP事業）が堅調な成長を継続し、グループ連結で営業利益は前年同期比156.3%と高水準で推移しています。要因としては既存メディアの好調が挙げられ、上半期の月間平均PV数は173,557千PV/月で、前年同期比120.4%となりました。これにより上半期のネット広告売上も前年同期比138.8%の大幅増となっています。

また既存メディアに加え、事業取得により訪日観光客をターゲットとしたメディア「Seeing Japan」や、事業開発によりふるさと納税の情報を発信する「ふるさと納税の達人」など、新しいメディアの運営も開始しております。さらに、ブロックチェーンを活用したゲーム領域でのトークンエコノミー「GameDays」をリリースするなど着実に事業拡大を図っております。

第5次モビリティ革命を支援するアクセラレーターとして、2017年夏より取り組みを始めている「iid 5G Mobility」においては、スマホがクルマの鍵になるスマートロックシステム「バーチャルキー」の実用化に向け、カーシェアリングやレンタカーのサービス事業者とのパートナーシップを開始しております。

私たちイードグループは、株式会社エンファクトリーや株式会社絵本ナビをはじめとした連結子会社も含め、50を超えるメディア・コンテンツを運営しておりますが、今後も新しいジャンルの開拓と既存事業領域の深耕を行いながら、周辺ビジネスの拡大を目指してまいります。

今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



株式会社 イード
代表取締役 宮川 洋

Contents

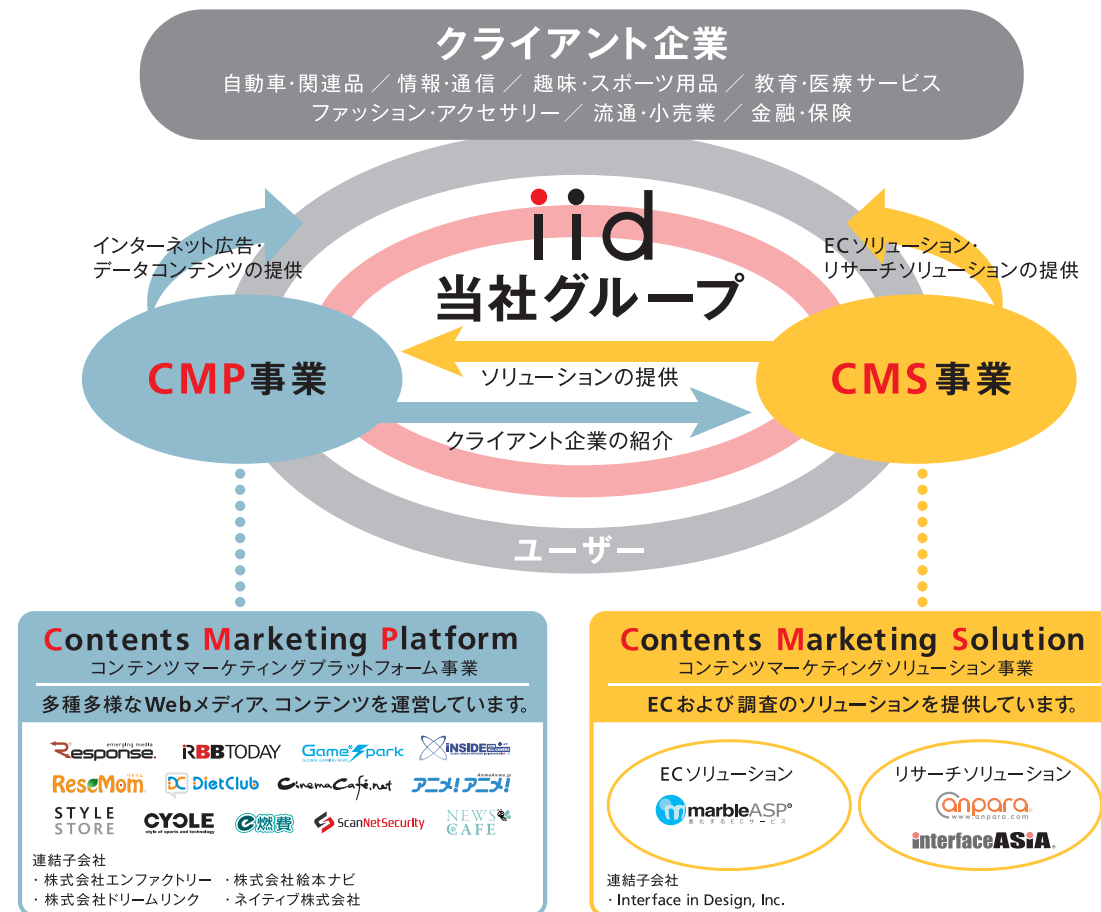
株主・投資家の皆さまへ	1	特集	5
イードの事業概況	2	会社概要・株主の概況	9
2019年上半期業績ハイライト	3		

Contents Marketing Company

イードは、Webメディア運営会社の旧IRI-CTと、マーケティングリサーチ会社の旧イードが合併して生まれたコンテンツマーケティングカンパニーです。

インターネットを活用した企業のマーケティング支援事業を軸に、すべてのステークホルダーにとって最高のUXを提供できるよう挑戦し続けています。

■イードの事業概況：2つのセグメントにて事業を展開しています



2019年上半期 業績ハイライト

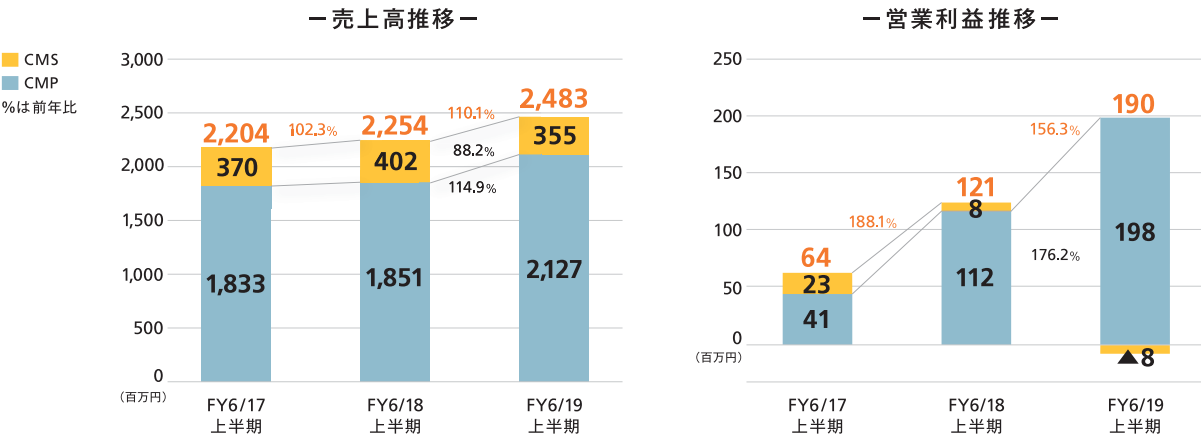
- ・連結の売上高は堅調に推移し過去最高を更新
- ・連結の営業利益はCMP事業の好調に支えられ、前期比156.3%と2期連続で大幅増

連 結				CMP				CMS			
	上半期	前年同期	前期比		上半期	前年同期	前期比		上半期	前年同期	前期比
売上高	2,483	2,254	110.1%	売上高	2,127	1,851	114.9%	売上高	355	402	88.2%
営業利益	190	121	156.3%	営業利益	198	112	176.2%	営業利益	△8	8	—
営業利益率	7.7%	5.4%	+2.3pt	営業利益率	9.3%	6.1%	+3.2pt	営業利益率	—	2.2%	—

(百万円)

2019年上半期 セグメント別売上高、営業利益の推移

- ・CMP事業の売上高は、ネット広告の増加により堅調、営業利益も前期比176.2%と大幅改善
- ・CMS事業は海外調査案件の受注減などにより売上高が減少、それに伴い営業利益も減少



※セグメント数値はセグメント内取引の調整を反映した後の数値です。

2019年上半期 進捗状況

- ・上半期の営業利益は前年同期比56.3%増加、通期での進捗率も66.8%と順調に推移
- ・ビジネス環境の変化等を考慮し、現時点において通期業績予想は据え置く

当上半期は売上高が2,483百万円(前年同期比10.1%増加)、営業利益は190百万円(前年同期比56.3%増加)、経常利益は193百万円(前年同期比51.7%増加)、当期純利益(※)は119百万円(前年同期比94.1%増加)となりました。

CMP事業の運用メディアにおける当上半期の月間平均PV数は173百万PV/月で、前期の月間平均PV数153百万から13.4%増加、前上半期の月間平均144百万からは20.4%増加となりました。これにより売上高も堅調に推移し、また前期から実施しているコスト削減も想定以上に進んだ結果、セグメント利益が予想よりも増加しました。この影響により連結の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益(※)はいずれも計画値を上回りました。今後も引き続き自社メディア運営の効率化を進めるとともに、メディア運営力を活かしたマーケティング支援の強化、ECサイトの運営受託支援等のB2Bビジネスの拡大を図ってまいります。

なお、通期の業績予想につきましては、平成30年8月14日に公表しました内容に変更はございません。当社が属する事業領域におけるビジネス環境の変化等を考慮し、前回の業績予想を据え置いております。

	FY6/19 上半期			FY6/19 通期	
	実績	計画	計画比	通期計画	進捗率
売上高	2,483	2,260	109.9%	4,800	51.7%
営業利益	190	122	156.0%	285	66.8%
経常利益	193	122	158.8%	285	68.0%
当期純利益(※)	119	64	185.4%	151	79.2%

※当期純利益とは親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益のことです。

(百万円)

2019年上半期 貸借対照表

- ・純資産は利益剰余金、非支配株主持分の増加により前期末より133百万円増加

当上半期末における総資産は3,580百万円(前期末比189百万円増加)となりました。これは主に受取手形及び売掛金が108百万円増加したこと、のれんが73百万円増加したこと等によるものです。

負債増額は893百万円(前期末比57百万円増加)となりました。これは主に子会社における短期借入金が増加したこと、子会社における長期借入金が増加したこと等によるものです。

純資産合計は2,687百万円(前期末比133百万円増加)となりました。これは主に利益剰余金が増加したこと等によるものです。

	FY6/19 上半期末	FY6/18 通期末	前期末比 増減額
流動資産	2,811	2,728	83
現金及び預金	1,807	1,870	▲63
固定資産	769	662	107
のれん	161	88	73
資産合計	3,580	3,391	189
流動負債	741	707	34
固定負債	151	129	22
負債合計	893	836	57
株主資本	2,626	2,505	121
利益剰余金	996	877	119
自己株式	▲92	▲97	5
純資産	2,687	2,554	133
負債・純資産	3,580	3,391	189

(百万円)

「iid 5G Mobility」の取り組みについて

自動車特化型アクセラレーター「iid 5G Mobility」を通じて、
MaaS (Mobility as a Service) 領域に進出する企業の支援や投資を行っています。

「月刊MaaSセミナー」を スタート

最新情報収集と 交流の場を提供

MaaS 領域に取り組む企業や団体に会える場として
「月刊MaaSセミナー」を2018年7月より実施。12月に開催
したセミナーでは100人を超える参加者を集めました。



企業向けのMaaSコンサルティングとして、イベント・ショーへのアテンドや 報告会・レポートなどを継続的に実施中

MaaS 領域への進出を検討する企業や団体に対して、
個別により深い情報提供や、世界中で開催されるイベント
やショーのアテンドも実施しています。また、既存自動車
関連企業の「モビリティ革命」支援として、海外でのイベ
ントにおける最新動向を動画レポートにまとめ、企業に
対する出張セミナーも実施しています。



「バーチャルキー」の開発と独占的販売でジゴワッツと提携

株式会社ジゴワッツと自動車向けスマートロックシステム「バーチャルキー」の開発と独占的な販売における提携に合意。2019年3月13日
よりカーシェアリングサービスやレンタカーサービスの事業者を対象にアーリーアクセス開発パートナーの募集を開始するとともに、
国際オートアフターマーケットEXPO2019にも出展、セミナーやデモンストレーションを行っています。

データを活用したマーケティング支援の取り組みについて

CMP事業で運営している各メディアから得られる読者嗜好などのオーディエンスデータや、e燃費の
実燃費データなどを、企業のマーケティングに有効活用いただくため外部への提供を始めています。

自動車業種特化型マーケティング・ソリューション 博報堂グループと「カテゴリーワークス MOBILITY」を開発

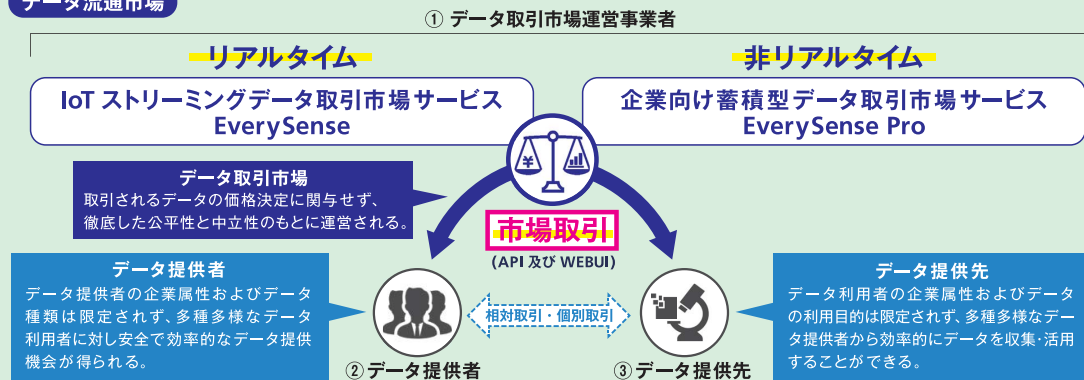


株式会社博報堂DYメディアパートナーズと共同で、博報堂DYグループの「生活者DMP」と、当社の「レスポンス」のオーディエンスデータを
連携し、マーケティング活用するためのソリューション「カテゴリーワークス Mobility」を開発し、提供開始しました。

ビッグデータ取引市場に、自動車の実燃費データを提供開始

エブリセンスジャパン株式会社が運営する蓄積型データに特化したデータ取引サービス「EverySense Pro」に「e燃費」の実燃費データ
の提供を開始しました。

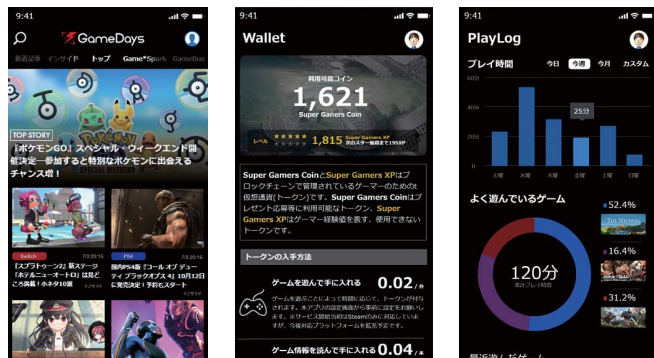
データ流通市場



ゲームを遊ぶとコインが貯まる 「GameDays」アプリをリリース



ブロックチェーンを活用し、独自に発行した2種類のトークンを軸にした、ゲーム領域でのトークンエコノミー「GameDays」をリリース。今後も継続的なアップデートを通じて、ユーザー数とコミュニティの拡大を目指していきます。



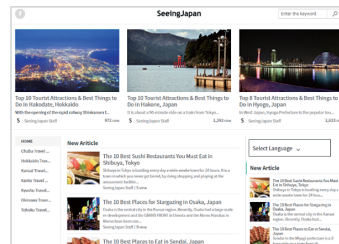
マネー専門家による「ふるさと納税」の情報サイト 「ふるさと納税の達人」をオープン

2017年12月に事業取得したマネー情報サイト「マネーの達人」の姉妹サイトとしてオープン、「ふるさと納税」に関する様々な情報を発信しています。昨年末にはユーザー数、同サイトを經由したふるさと納税の納付額が急拡大しました。



訪日外国人観光客向けに5ヶ国語で日本情報を 発信する「SeeingJapan」を事業取得

日本語、英語、中国語(繁体字)、タイ語、韓国語の5ヶ国語で訪日外国人観光客向けに日本の観光情報を発信しています。今後も大型イベントが相次ぎ、増加が見込まれる訪日外国人観光客向けにメディア規模の拡大を目指していきます。



グループ会社の取り組みについて

専門性を活かした事業展開で、継続的に新しいビジネスモデルを構築



専門家ソリューションサービスの 提供を拡大、LINEのQAサービス 「Wizball」にもコンテンツ提供

エンファクトリーでは、130業種20,000名以上の専門家ネットワークを活用し、「専門家プロフィール」「専門家@メディア」などを提供してきましたが、これを更に強化します。

新たにLINE株式会社が運営するブロックチェーンを活用したQ&Aプラットフォーム「Wizball」との連携も開始しています。



企業のSDGs推進の取組みとして 採用可能な絵本棚スポンサーパッケージ 「こどもえほんだなプログラム」を開始

国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し取り組む企業や団体に向けて、子供が訪れる施設に絵本棚を提供するパッケージを提供開始しています。

本プログラムはSDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」に対応したものです。





会社概要

会社名 株式会社イード (IID, Inc.)
設立 2000年4月28日
所在地 〒163-0228 東京都新宿区西新宿2丁目6-1 新宿住友ビル28階
資本金 868,581千円
事業内容 メディア事業
リサーチ事業
メディアコマース事業
従業員数 単体135名／連結213名
子会社 Interface in Design, Inc.
株式会社エンファクトリー
株式会社絵本ナビ
株式会社ドリームリンク
ネイティブ株式会社

役員

代表取締役 宮川 洋
取締役 須田 亨
取締役○ 大和田 廣樹 (株式会社IOTスクエア 取締役)
取締役○ 吉崎 浩一郎 (株式会社グロース・イニシアティブ 代表取締役)
監査役 山中 純雄 (常勤監査役)
監査役○ 安達 美雄 (元株式会社大塚商会執行役員)
監査役○ 藤山 剛 (株式会社ラウンドアバウト・キャピタル 代表取締役)

○=社外役員

株主の概況

発行可能株式総数 8,000,000株
発行済株式の総数 4,994,300株
株主数 2,161名

■大株主の順位

順位	大株主名	株式数	持株比率
1	エキサイト株式会社	706,900	14.41%
2	株式会社三越伊勢丹イノベーションズ	653,100	13.31%
3	株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	517,700	10.55%
4	株式会社マイナビ	400,000	8.15%
5	株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント	240,000	4.89%
6	電通デジタル投資事業有限責任組合	200,000	4.08%
7	宮川 洋	122,000	2.49%
8	株式会社SBI証券	99,900	2.04%
9	吉野 弘彦	90,900	1.85%
10	工木 大造	80,600	1.64%

(注1) 当社は、自己株式87,146株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
(注2) 2018年12月31日時点の株主名簿に基づき記載しております。
2019年2月15日付で実行・公表しました自己株式の取得および主要株主の異動は反映しておりません。

株式についてのご案内（株主メモ）

上場市場 東京証券取引所マザーズ
証券コード 6038
事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会 毎年事業年度終了後3ヶ月以内
株主確定基準日 毎年6月30日
株式の売買単位 100株
公告掲載方法 電子公告により行います。公告掲載URL：http://www.iid.co.jp/company/koukoku
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
連絡先・郵便物送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL：0120-232-711（フリーダイヤル）

第20期

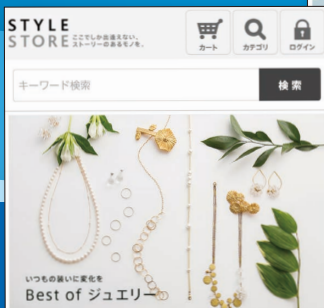
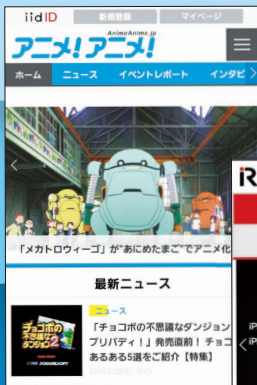
株主通信「イードプレス」

iid Press

2019年6月期

(2018.7.1～2018.12.31)

上半期報告書



株式会社 イード

(証券コード 6038)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。本資料に掲載されている各セグメントの数値はセグメント内に連結調整を反映する前の数値です。

IRサイトのご案内

イード IR

検索

<http://www.iid.co.jp/ir/>